

日付： 年 月 日

氏名：

たし算をしましょう。

所要時間

 分  秒

$75 + 6 = ( )$     $75 + 3 = ( )$

$40 + 3 = ( )$     $84 + 6 = ( )$

$38 + 5 = ( )$     $12 + 9 = ( )$

$89 + 4 = ( )$     $63 + 4 = ( )$

$57 + 2 = ( )$     $48 + 7 = ( )$

$33 + 8 = ( )$     $20 + 5 = ( )$

$12 + 7 = ( )$     $96 + 4 = ( )$

$24 + 9 = ( )$     $27 + 1 = ( )$

$96 + 1 = ( )$     $59 + 8 = ( )$

$61 + 6 = ( )$     $31 + 2 = ( )$

次の詩を、大きな声で読みましょう。

## 夏の日の歌

中原中也

青い空は動かない、  
雲片一つあるでない。

夏の真昼の静かには

タールの光も清くなる。

夏の空には何がある、

いぢらしく思わせる何かがある、

焦げて凶太い向日葵が

田舎の駅には咲いている。

上手に子供を育てゆく、

母親に似て汽車の汽笛は鳴る。

山の近くを走る時。

山の近くを走りながら、

母親に似て汽車の汽笛は鳴る。

夏の真昼の暑い時。

日付： 年 月 日

氏名：



日付： 年 月 日

氏名：

次の詩の、□になつてゐる部分を書きましょう。

## 夏の日の歌

中原中也

青い□は動かない、  
一つあるでない。

夏の真昼の□かには  
タールの光も□くなる。

□の空には何がある、  
いぢらしく思わせる何かがある、

□げて炎太い□が  
□の駅には咲いている。

上手に子供を□てゆく、  
母親に似て汽車の□は鳴る。  
山の近くを走る時。

山の近くを走りながら、  
母親に似て□の汽笛は鳴る。

夏の□の□い時。



日付： 年 月 日

氏名：

文字の順番がばらばらになっています。文字を並べ替えて、正しい言葉を右に書きましょう。テーマは「料理」です。

1. みさし

2. そるしみ

3. らおいすむ

4. ひやっこや

5. かすいられー

6. はばーぐん

7. まやだきめ

8. ちんむわしゃ

日付： 年 月 日

氏名：

左と同じように、右に記号をかきましょう。

